

### グラビアの説明

オーストラリアのカルグラ太陽観測所にある80メガヘルツラジオヘリオグラフによって撮られたII型バースト。太陽の向う側でフレアーが起こり、衝撃波がコロナの非常に広い範囲にひろがった。それを太陽の反対側から観測するため、太陽の部分が影となってそのまわりにみえている。5番目の写真では衝撃波が太陽のこちら側まで伝わって来ている。

(1969年3月30日に観測された。スマード氏の好意による)。

写真1 02<sup>h</sup>48<sup>m</sup>58<sup>s</sup>

# 2 02 50 05

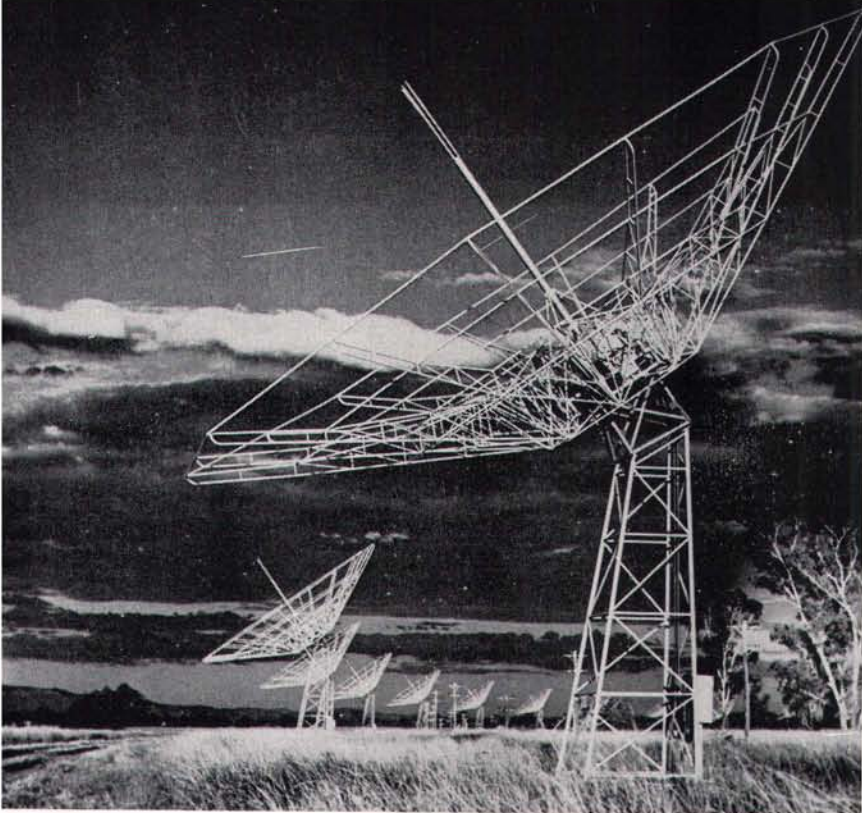
# 3 02 50 09

# 4 02 50 23

# 5 03 01 01

# 6 03 06 44

(上方が北、左方が東、円は光球の大きさを表わす)

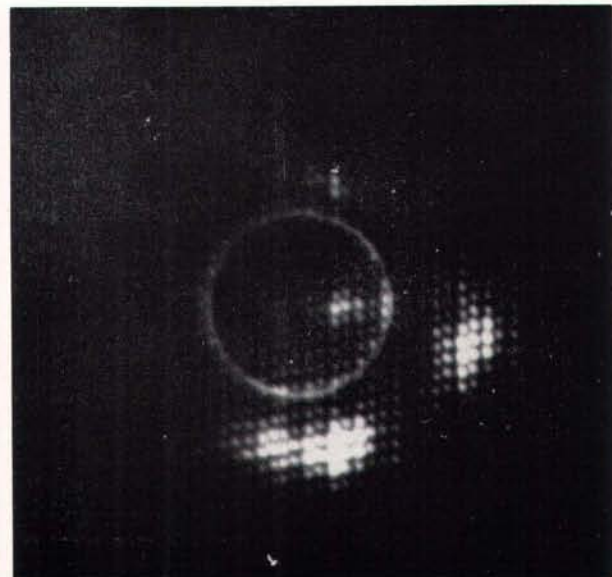
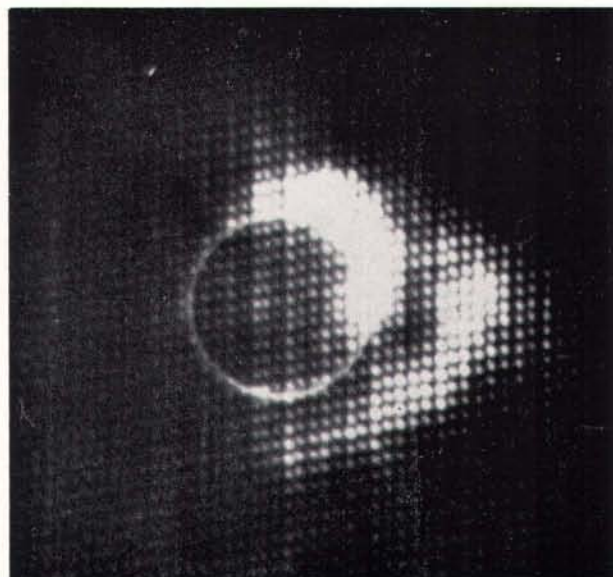
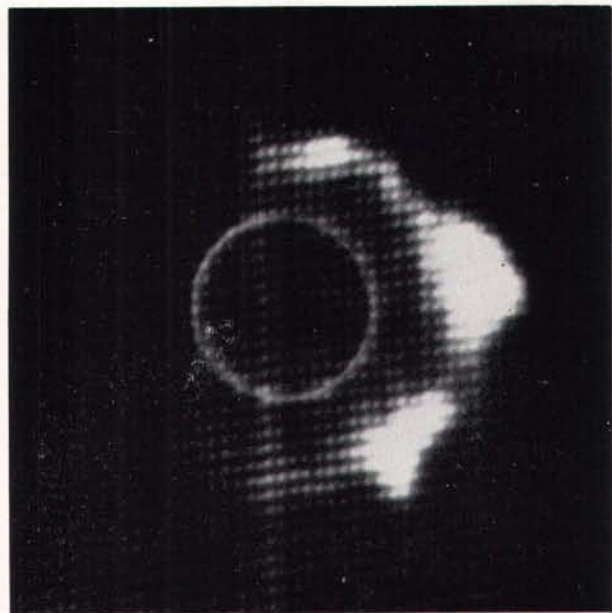
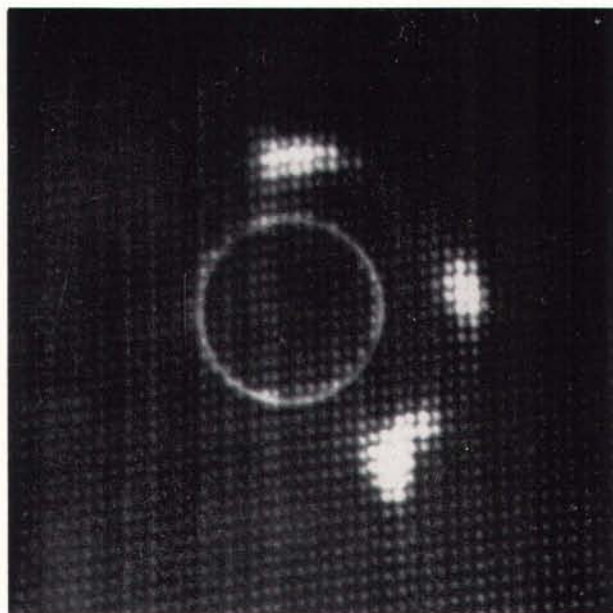
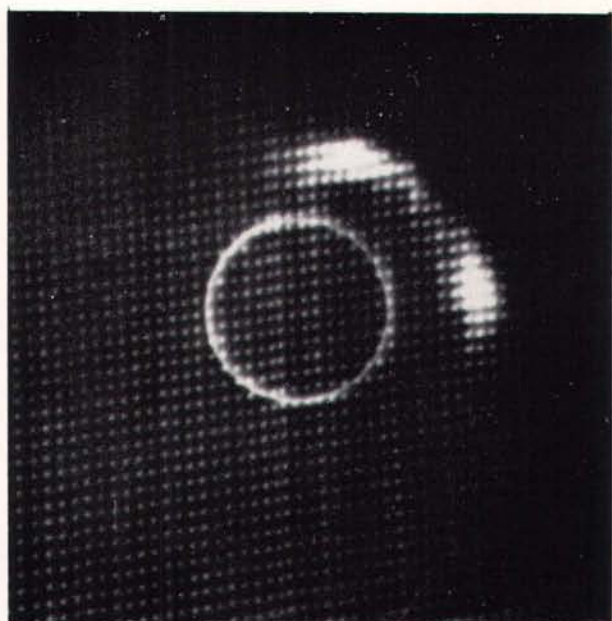
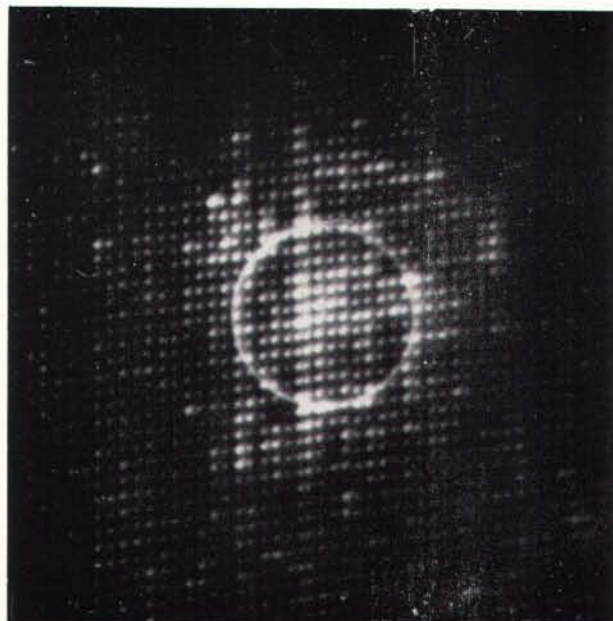


▲この装置のエレクトロニクス

▲空中撮影による全景

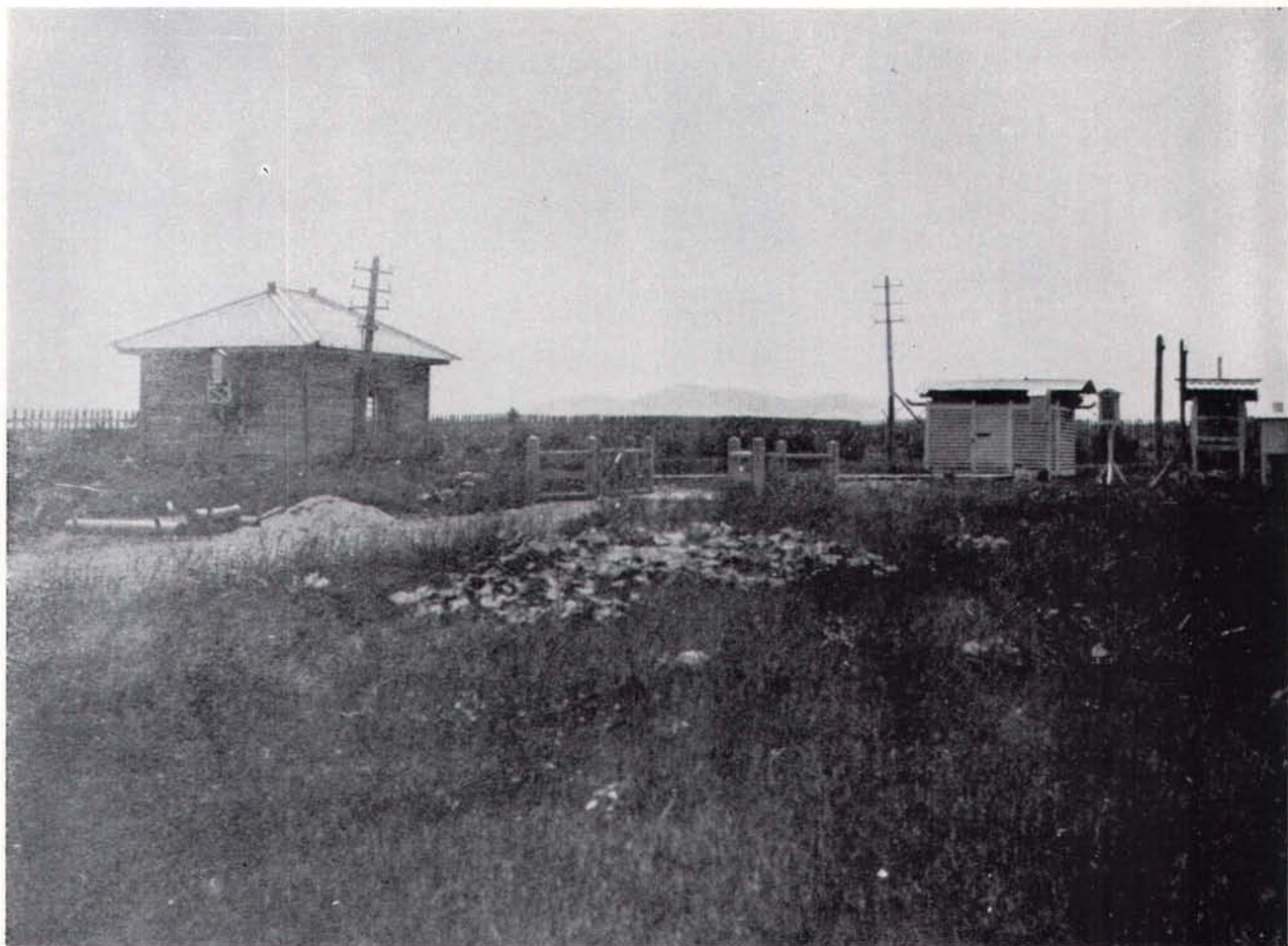
▲ラジオヘリオグラフのエレクトロニクスのおさめられている建物





## 水沢緯度観測所, 創立七十周年を祝う

▼創立当時(明治32年12月)の緯度観測所風景



昨年10月30日、緯度観測所創立70周年記念式典が水沢市公民館において国内各界の来賓を迎え盛大に行なわれた。

式典には創立(明治32年)初代所長木村栄先生の長女、茅伊登子夫人はじめ旧職員諸氏、来所中のリスボン大学のビセンテ教授も出席され、またソ連ブルコボ中央天文台ミハイロフ教授らからの祝電も披露され、緯度観測所のたゆまぬ70年の歩みと将来への力強い抱負が述べられた。

▼リスボン大学ビセンテ教授



▼式典風景

